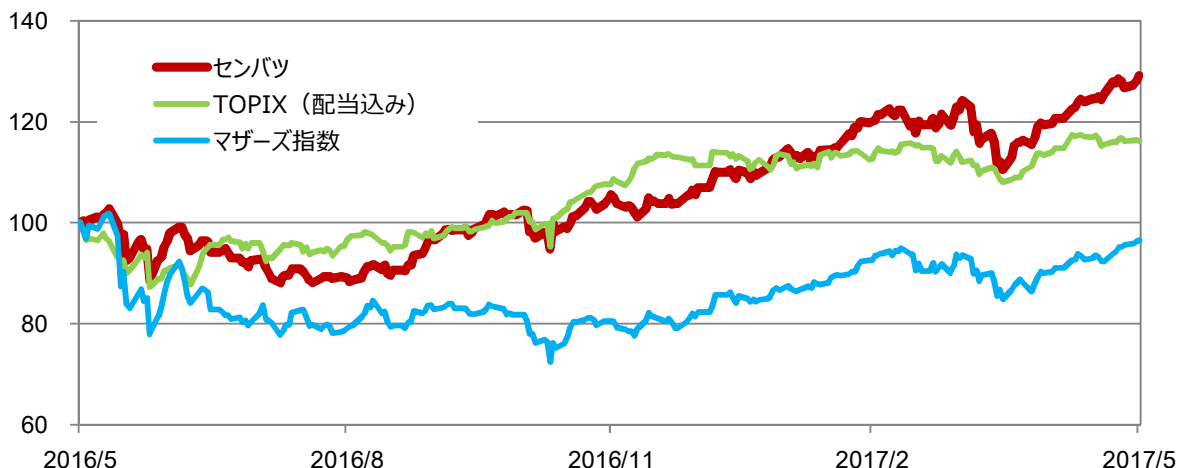


## 指数比で大きくアウトパフォーマンスする『センバツ』

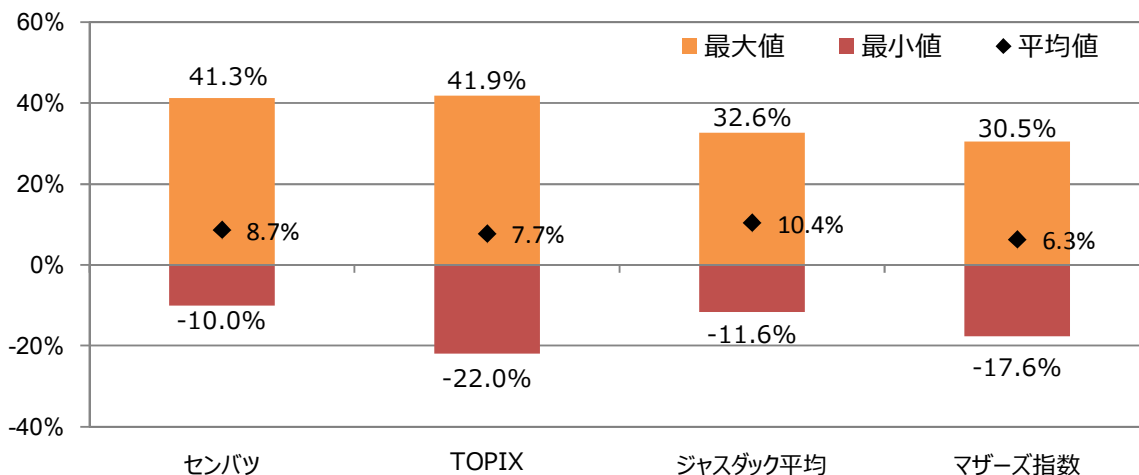
- SBI日本小型成長株センバツファンド(愛称:センバツ)(以下、センバツ)は、インデックスに対して好調なパフォーマンスを残しています。
- 例えば、2016年6月の英国EU離脱、11月の米大統領選挙といったマーケットの下落局面では指数(TOPIX・マザーズ指数)よりも下落幅を抑えている一方、上値が重い展開のなかでも上昇トレンドを継続しています。
- エンジェルジャパン社の徹底した個別面談調査(ボトム・アップ・リサーチ)による銘柄選定力が遺憾なく発揮された結果であり、マクロ環境に左右されにくいポートフォリオの構築によって今後も継続した高いパフォーマンスを目指していきます。

### センバツおよび国内株式指標の推移



【出所】BloombergよりSBIアセットマネジメントが作成  
 データ期間：2016年5月末～2017年5月末(基準時点を100として指数化)

### (参考) センバツおよび国内株式指標の騰落率の比較

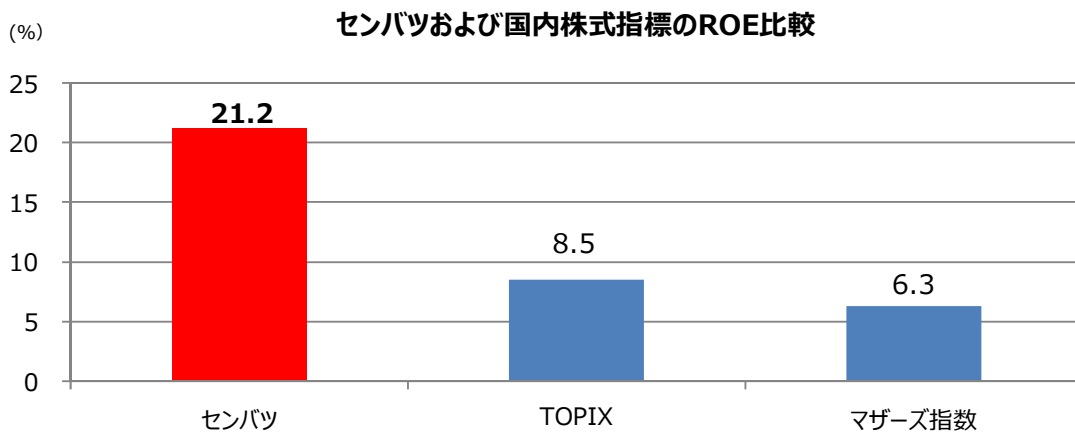


【出所】BloombergよりSBIアセットマネジメントが作成  
 データ期間：2014年3月末(センバツについては、設定日の2014/3/28より算出)～2017年5月末  
 ※各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、ファンド及び国内株式指標について表示し、  
 ファンドと国内株式指標を定量的に比較できるように作成したものです。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

## 好調な決算発表となった中小型株市場

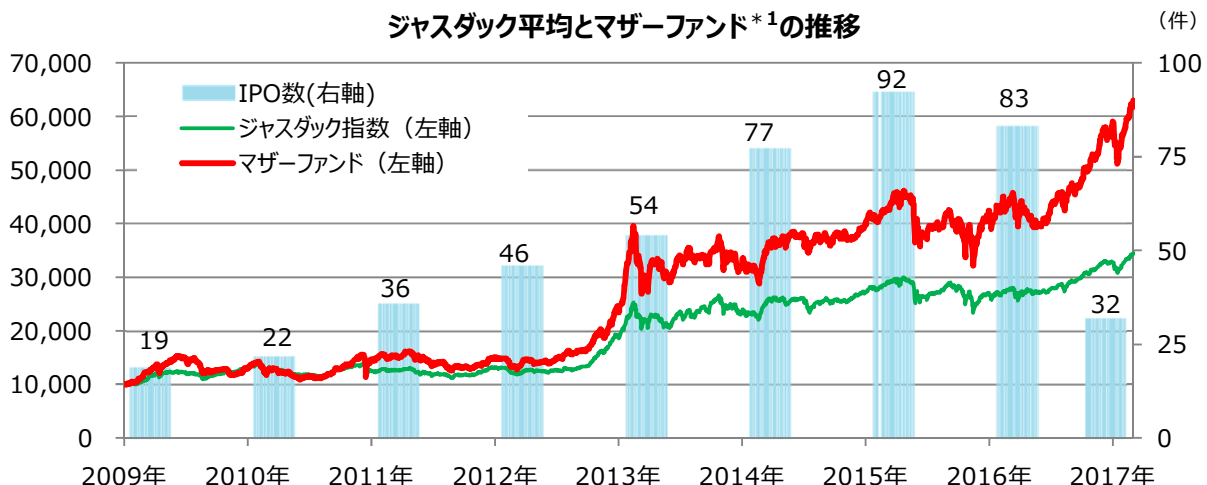
- 日本経済新聞社の集計によると、新興5市場（マザーズ、東証ジャスダック、札証アンビシャス、名証セントレックス、福証Qボード）に上場する721社合計の2017年3月期純利益は、前年比+46%増となりました。
- 同時期の上場企業全体（金融等除く1,555社）は同+18%増でしたので、新興企業の成長力の高さが改めて確認できたといえるでしょう。相対的に景気変動の影響を受けにくく、成長力が高い新興企業や中小型株に対する注目度はますます高まっています。
- 尚、センバツにおいては、ROE（自己資本利益率）が21.2%（加重平均ベース）と指数対比で魅力的な数値となっており、成長力だけでなく収益性も高いポートフォリオとなっています。



【出所】BloombergよりSBIアセットマネジメントが作成  
 ※2017/5/31時点。センバツは、組入銘柄の直近決算発表後の実績ROEを加重平均して算出。

## 年々勢いづくIPO市場

- IPO（新規公開）の増加局面には、中小型株式市場や新興市場は大きく上昇する傾向があります。リーマン・ショック以降IPO件数は増加しており、2016年は若干減少したものの、依然高水準を維持しています。今後も更なる中小型株式市場の活性化が期待されます。



【出所】BloombergよりSBIアセットマネジメントが作成  
 \*1：本ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行っている為、マザーファンドの運用状況を表示しています。  
 ※データ期間：2009年4月～2017年5月末（2009年4月1日を10,000として指数化）  
 ※2017年のIPO数は、2017年5月末までの判明分

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

本ファンドは、マザーファンド受益証券を通じて主に国内株式を投資対象としています。株式等値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する中小型株式等の価格変動は、株式市場全体の平均に比べて大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

本ファンドの主なリスクとしては、価格変動リスク、流動性リスク、信用リスクがあります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## お申込みメモ

購入単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
決算日	年2回（原則として6月と12月の各22日。休業日の場合は翌営業日。）
収益分配	年2回決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。 ※販売会社によっては分配金の再投資コースを設けています。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託期間	無期限（設定日：平成26年3月28日）
換金価額	換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度及び未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。 原則として、配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。 ※税制が改正された場合には、変更となる場合があります。

## その他の留意点

- ・本ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- ・銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における本ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- ・投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

## 手続・手数料等

### ファンドの費用

#### ■ 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込金額に <b>3.24% (税抜: 3.0%)</b> を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た金額とします。詳細は販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に <b>0.3%</b> を乗じて得た額とします。

#### ■ 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

信託報酬の総額は、下記①の基本報酬と②の実績報酬を加算した額とします。

##### ①基本報酬

ファンドの日々の純資産総額に**年1.458% (税抜: 年1.35%)**を乗じて得た額とします。

内訳	委託会社	販売会社	受託会社
	年: <b>0.864%</b> (税抜: <b>0.8%</b> )	年: <b>0.54%</b> (税抜: <b>0.5%</b> )	年: <b>0.054%</b> (税抜: <b>0.05%</b> )

※委託会社の報酬より、投資顧問(助言)会社への報酬が支払われます。

##### ②実績報酬

本ファンドは信託報酬に加えて、ハイ・ウォーター・マーク方式による実績報酬を受領します。

[実績報酬算出日の決算前基準価額※ - ハイ・ウォーター・マーク] × 受益権総口数 / 1万 × 21.6% (税込)

※決算前基準価額については以下参照。

ハイ・ウォーター・マークは、第1計算期間の終了日までは1万円とします。

毎計算期末において、当該日の1口あたり基準価額(実績報酬控除前の1口あたり基準価額(「決算前基準価額」))がその時点のハイ・ウォーター・マークを上回った場合は、翌営業日以降のハイ・ウォーター・マークは、当該基準価額に変更されます。

なお、当該信託報酬は、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。

実績報酬算出期間	ハイ・ウォーター・マーク	算出期間末基準価額
平成28年6月23日～平成28年12月22日	12,423円	12,572円
平成28年12月23日～平成29年6月22日	12,572円	-

#### その他の費用及び手数料

ファンドの監査費用、有価証券売買時にかかる売買委託手数料、信託事務の処理等に要する諸費用、開示書類等の作成費用等(有価証券届出書、目論見書、有価証券報告書、運用報告書等の作成・印刷費用等)が信託財産から差引かれます。  
 ※これらの費用は、監査費用を除き運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。

※ 当該費用及び手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 委託会社、その他関係法人

- <委託会社> SBIアセットマネジメント株式会社(信託財産の運用指図および運用報告書の作成等を行います。)  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号  
 加入協会/一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
- <受託会社> 三菱UFJ信託銀行株式会社(ファンド財産の保管・管理等を行います。)

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。